

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-18 中世歴史調査研究室管理運営事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					1242	中世歴史調査研究室管理運営事業	
主管課	文化財課		関連課 鎌倉国宝館、世界遺産登録推進担当					
分野名	歴史環境							
目標 (目標値)	中世歴史調査研究室の研究機能の充実を図る。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	838千円	1,384千円					
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	838千円	1,384千円					
	人員配置数	0.5人	0.5人					
	人 件 費	4,813千円	4,749千円					
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	5,651千円	6,133千円					
	市民1人当 りの経費	32円	35円					
	対象者1人 当りの経費							
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 中世鎌倉に関する調査・研究機能を充実し、文化財を公開・活用・展示できる拠点としての環境を整備する。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 大町釈迦堂口遺跡発掘調査報告書の刊行に関する資料整理を行った。 史跡永福寺跡環境整備事業に関する資料調査、整備内容の検討を行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 中世鎌倉に関する調査・研究機能を充実し、文化財を公開・活用・展示できる拠点の整備に繋げていくための環境・体制を整えていかなければならない。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (仮称)鎌倉博物館展示等整備計画に基づく博物館の中の調査・研究部門の機能として充実を図るため文化財課旧分室(旧大船支所)と中世歴史調査研究室の統合をした。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	中世鎌倉の研究を推進・充実する ために、調査・研究機能の充実を図 っていく必要がある。			評価結果	改善の必要性	中世鎌倉の研究を推進・充実し、 文化財の公開展示・活用するための 施設の充実を図っていく必要があ る。	
A	有				A	有		
課長名		永 井 正 憲			部名・部長名		植 松 芳 子	